

平成 30 年度

当初予算資料

黒 石 市

平成30年度当初予算の概要

1 基本的な考え方

国は、地方が子ども・子育て支援や地方創生等の重要課題に取り組みつつ、安定的に財政運営を行うことができるよう、地方交付税等の一般財源総額を6兆1,159億円(前年度比+0.1%)とし、平成29年度地方財政計画を上回る額を確保することとしている。

本市の予算は、歳入では税収の減額が見込まれ34億8,379万円(前年度当初比▲3,218万円、▲0.9%)とした。地方交付税は59億8,700万円(前年度当初比▲1億3,900万円、▲2.3%)、臨時財政対策債は4億566万円(前年度当初比▲3,064万円、▲7.0%)と共に減額が見込まれ、一般財源総額では100億1,422万5千円(前年度当初比▲1億9,429万円、▲1.9%)とした。

一方歳出では、学校適正配置に伴う新設黒石小学校及び給食施設の新築工事の着工、人口減少対策としての「しごとづくり」促進のため東北自動車道黒石インターチェンジを活用したロジスティクス戦略に本格的に着手する。また、「子育て支援」として子ども医療費助成の拡充や養育支援、「健康づくり」として若年層向けの検診事業に取り組むほか、地域おこし協力隊の導入を行う。

各施策についてはPDCAサイクルにより緊急度、優先度、費用対効果を検証し、国庫補助金等の活用も図ったところであるが、財源不足を補うため財政調整基金を7,000万円取り崩すこととした。

今後も厳しい財政環境が続くと想定されるが、引き続き財政規律の堅持に努めながら田園観光産業都市を目指し、「元気な黒石」「安心な黒石」「自立した黒石」の実現に向けて取り組んでいくこととする。

2 予算の規模

- ・ 一般会計 159億9,300万円 (前年度当初 157億8,500万円)
(前年度当初比 +2億800万円、+1.3%)
- ・ 特別会計等 161億8,826万2千円 (前年度当初 173億2,973万9千円)
(前年度当初比 ▲11億4,147万7千円、▲6.6%)

- 合 計 321億8,126万2千円 (前年度当初 331億1,473万9千円)
(前年度当初比 ▲9億3,347万7千円、▲2.8%)

各会計予算比較表

(単位 千円)

会計別	平成30年度 当初予算額	平成29年度 当初予算額	対前年度	
			増減額	増減率 (%)
一般会計	15,993,000	15,785,000	208,000	1.3
黒石病院計	5,375,497	5,632,460	△ 256,963	△ 4.6
水道計	1,041,336	1,116,999	△ 75,663	△ 6.8
下水道計	1,378,998	1,369,599	9,399	0.7
(企業会計合計)	7,795,831	8,119,058	△ 323,227	△ 4.0
国民健康保険計	4,327,729	5,283,200	△ 955,471	△ 18.1
後期高齢者医療計	341,449	327,005	14,444	4.4
姥懐霊園墓地計	10,199	10,159	40	0.4
介護保険計	3,569,820	3,469,926	99,894	2.9
簡易水道計	27,644	29,020	△ 1,376	△ 4.7
温泉供給事業計	41,585	15,487	26,098	168.5
農業集落排水計	21,486	23,178	△ 1,692	△ 7.3
土地取得計	52,519	52,706	△ 187	△ 0.4
(特別会計合計)	8,392,431	9,210,681	△ 818,250	△ 8.9
合計	32,181,262	33,114,739	△ 933,477	△ 2.8

一般会計予算款別等比較表

(歳入)

(単位 千円、%)

区 分	平成30年度 当初予算額	構成比	平成29年度 当初予算額	構成比	増減額	増減率
1 市 税	2,847,435	17.8	2,854,230	18.1	△ 6,795	△ 0.2
2 地 方 譲 与 税	125,284	0.8	117,993	0.8	7,291	6.2
3 利 子 割 交 付 金	4,581	0.0	3,724	0.0	857	23.0
4 配 当 割 交 付 金	2,004	0.0	2,355	0.0	△ 351	△ 14.9
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	3,003	0.0	1,876	0.0	1,127	60.1
6 地 方 消 費 税 交 付 金	590,638	3.7	633,234	4.0	△ 42,596	△ 6.7
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	36,129	0.2	20,551	0.1	15,578	75.8
8 地 方 特 例 交 付 金	12,491	0.1	12,252	0.1	239	2.0
9 地 方 交 付 税	5,987,000	37.4	6,126,000	38.8	△ 139,000	△ 2.3
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,700	0.0	4,800	0.0	△ 100	△ 2.1
11 分 担 金 及 び 負 担 金	156,072	1.0	251,131	1.6	△ 95,059	△ 37.9
12 使 用 料 及 び 手 数 料	143,793	0.9	143,439	0.9	354	0.2
13 国 庫 支 出 金	2,977,991	18.6	2,916,024	18.5	61,967	2.1
14 県 支 出 金	1,215,777	7.6	1,236,353	7.9	△ 20,576	△ 1.7
15 財 産 収 入	8,433	0.1	19,026	0.1	△ 10,593	△ 55.7
16 寄 附 金	10,014	0.1	5,013	0.0	5,001	99.8
17 繰 入 金	76,934	0.5	9,068	0.1	67,866	748.4
18 繰 越 金	80,000	0.5	50,000	0.3	30,000	60.0
19 諸 収 入	239,361	1.5	242,031	1.5	△ 2,670	△ 1.1
20 市 債	1,471,360	9.2	1,135,900	7.2	335,460	29.5
合 計	15,993,000	100.0	15,785,000	100.0	208,000	1.3
自 主 財 源	3,562,042	22.3	3,573,938	22.6	△ 11,896	△ 0.3
依 存 財 源	12,430,958	77.7	12,211,062	77.4	219,896	1.8
合 計	15,993,000	100.0	15,785,000	100.0	208,000	1.3

(歳出)

(単位 千円、%)

区 分			平成30年度 当初予算額	構成比	平成29年度 当初予算額	構成比	増減額	増減率
1	議 会 費		177,027	1.1	168,312	1.1	8,715	5.2
2	総 務 費		1,458,740	9.1	1,429,380	9.1	29,360	2.1
3	民 生 費		6,267,141	39.2	6,220,601	39.4	46,540	0.7
4	衛 生 費		1,286,677	8.1	1,379,017	8.7	△ 92,340	△ 6.7
5	労 働 費		11,213	0.1	10,352	0.1	861	8.3
6	農 林 水 産 業 費		454,367	2.8	533,592	3.4	△ 79,225	△ 14.8
7	商 工 費		449,448	2.8	406,152	2.6	43,296	10.7
8	土 木 費		1,598,485	10.0	1,875,172	11.9	△ 276,687	△ 14.8
9	消 防 費		723,463	4.5	749,472	4.7	△ 26,009	△ 3.5
10	教 育 費		1,863,443	11.7	1,243,168	7.9	620,275	49.9
11	災 害 復 旧 費		1,807	0.0	3,005	0.0	△ 1,198	△ 39.9
12	公 債 費		1,681,189	10.5	1,758,777	11.1	△ 77,588	△ 4.4
13	予 備 費		20,000	0.1	8,000	0.0	12,000	150.0
合 計			15,993,000	100.0	15,785,000	100.0	208,000	1.3
投資的経費	補 助 事 業 費		1,422,414	8.9	909,839	5.8	512,575	56.3
	単 独 事 業 費		361,243	2.3	513,678	3.2	△ 152,435	△ 29.7
	(小 計)		1,783,657	11.2	1,423,517	9.0	360,140	25.3
	災 害 復 旧 事 業 費		1,807	0.0	3,005	0.0	△ 1,198	△ 39.9
	合 計		1,785,464	11.2	1,426,522	9.0	358,942	25.2

一般会計予算性質別比較表

(歳入)

(単位 千円、%)

区 分	平成30年度 当初予算額	構成比	平成29年度 当初予算額	構成比	増減額	増減率
自 主 財 源	3,562,042	22.3	3,573,938	22.6	△ 11,896	△ 0.3
市 税	2,847,435	17.8	2,854,230	18.1	△ 6,795	△ 0.2
分 担 金 及 び 負 担 金	156,072	1.0	251,131	1.6	△ 95,059	△ 37.9
使 用 料 及 び 手 数 料	143,793	0.9	143,439	0.9	354	0.2
財 産 収 入	8,433	0.1	19,026	0.1	△ 10,593	△ 55.7
寄 附 金	10,014	0.1	5,013	0.0	5,001	99.8
繰 入 金	76,934	0.5	9,068	0.1	67,866	748.4
諸 収 入	239,361	1.5	242,031	1.5	△ 2,670	△ 1.1
繰 越 金	80,000	0.5	50,000	0.3	30,000	60.0
依 存 財 源	12,430,958	77.7	12,211,062	77.4	219,896	1.8
地 方 譲 与 税	125,284	0.8	117,993	0.7	7,291	6.2
利 子 割 交 付 金	4,581	0.0	3,724	0.0	857	23.0
配 当 割 交 付 金	2,004	0.0	2,355	0.0	△ 351	△ 14.9
株式等譲渡所得割交付金	3,003	0.0	1,876	0.0	1,127	60.1
地 方 消 費 税 交 付 金	590,638	3.7	633,234	4.0	△ 42,596	△ 6.7
自動車取得税交付金	36,129	0.2	20,551	0.1	15,578	75.8
地 方 特 例 交 付 金	12,491	0.1	12,252	0.1	239	2.0
地 方 交 付 税	5,987,000	37.4	6,126,000	38.8	△ 139,000	△ 2.3
交通安全対策特別交付金	4,700	0.0	4,800	0.0	△ 100	△ 2.1
国 庫 支 出 金	2,977,991	18.6	2,916,024	18.5	61,967	2.1
県 支 出 金	1,215,777	7.6	1,236,353	7.8	△ 20,576	△ 1.7
市 債	1,471,360	9.2	1,135,900	7.2	335,460	29.5
合 計	15,993,000	100	15,785,000	100	208,000	1.3

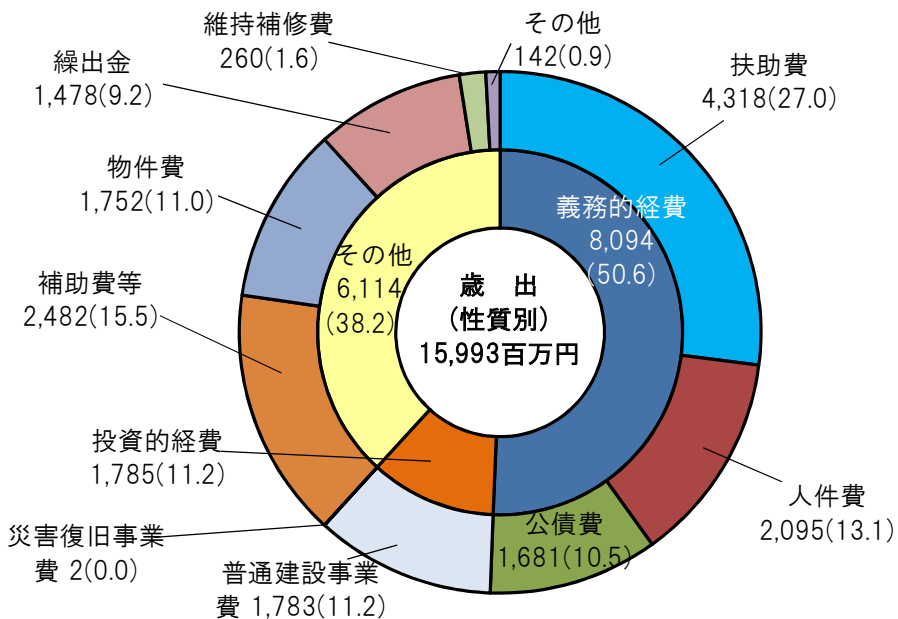
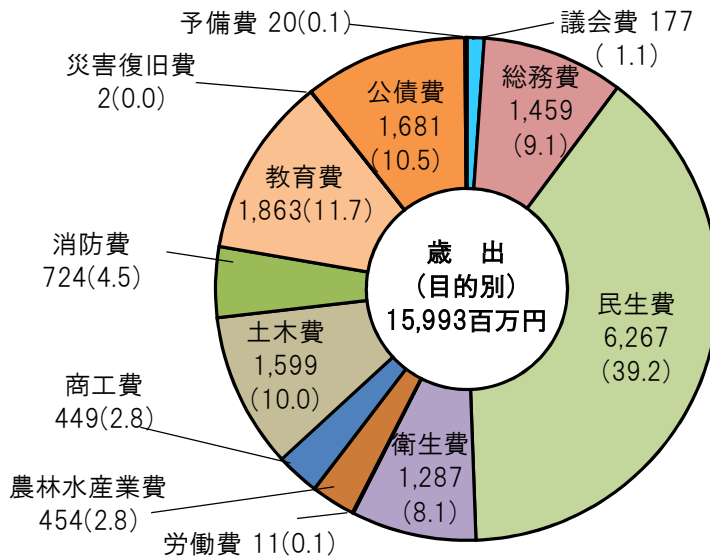
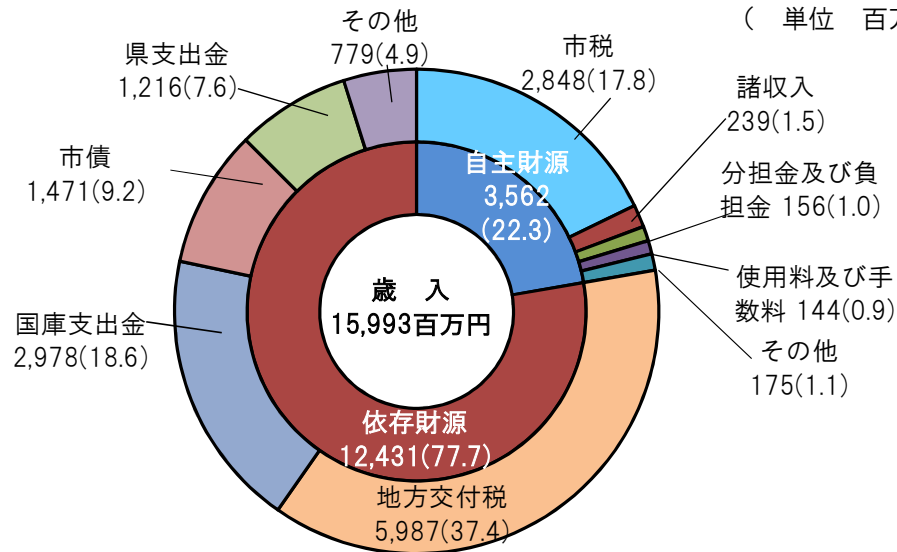
(歳出)

(単位 千円、%)

区 分	平成30年度 当初予算額	構成比	平成29年度 当初予算額	構成比	増減額	増減率
義 務 的 経 費	8,093,902	50.6	8,262,602	52.3	△ 168,700	△ 2.0
人 件 費	2,095,310	13.1	2,127,784	13.5	△ 32,474	△ 1.5
扶 助 費	4,317,403	27.0	4,376,041	27.7	△ 58,638	△ 1.3
公 債 費	1,681,189	10.5	1,758,777	11.1	△ 77,588	△ 4.4
投 資 的 経 費	1,785,464	11.2	1,426,522	9.0	358,942	25.2
普 通 建 設 事 業 費	1,783,657	11.2	1,423,517	9.0	360,140	25.3
災 害 復 旧 事 業 費	1,807	0.0	3,005	0.0	△ 1,198	△ 39.9
そ の 他	6,113,634	38.2	6,095,876	38.6	17,758	0.3
物 件 費	1,752,203	11.0	1,565,723	9.9	186,480	11.9
維 持 補 修 費	259,691	1.6	264,020	1.7	△ 4,329	△ 1.6
補 助 費 等	2,481,988	15.5	2,708,532	17.2	△ 226,544	△ 8.4
積 立 金	10,138	0.1	5,133	0.0	5,005	97.5
投 資 及 び 出 資 金	501	0.0	501	0.0	0	0.0
貸 付 金	130,750	0.8	130,800	0.8	△ 50	0.0
繰 出 金	1,478,363	9.2	1,421,167	9.0	57,196	4.0
合 計	15,993,000	100	15,785,000	100	208,000	1.3

一般会計歳入・歳出構成比

(単位 百万円、(%))



一部事務組合負担金・企業会計補助金・特別会計繰出金の状況

(単位 千円、%)

一部事務組合負担金	平成30年度 当初予算 A	平成29年度 当初予算 B	対前年度 増減額A-B	対前年度 増減率
南 黒 地 方 福 祉 事 務 組 合	12,821	21,722	△ 8,901	△ 41.0
黒 石 地 区 清 掃 施 設 組 合	278,189	272,655	5,534	2.0
弘 前 地 区 消 防 事 務 組 合	616,349	657,828	△ 41,479	△ 6.3
津軽広域連合(総務費+障害判定)	5,703	6,257	△ 554	△ 8.9
津軽広域連合(し尿等希釈投入施設)	32,409	37,097	△ 4,688	△ 12.6
青森県後期高齢者医療広域連合	352,130	353,254	△ 1,124	△ 0.3
合 計	1,297,601	1,348,813	△ 51,212	△ 3.8

企業会計補助金	平成30年度 当初予算 A	平成29年度 当初予算 B	対前年度 増減額A-B	対前年度 増減率
病 院 事 業 会 計	500,000	550,000	△ 50,000	△ 9.1
水 道 事 業 会 計	7,000	7,200	△ 200	△ 2.8
下 水 道 事 業 会 計	371,167	340,467	30,700	9.0
合 計	878,167	897,667	△ 19,500	△ 2.2

特別会計繰出金	平成30年度 当初予算 A	平成29年度 当初予算 B	対前年度 増減額A-B	対前年度 増減率
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	368,061	337,415	30,646	9.1
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	135,029	135,341	△ 312	△ 0.2
介 護 保 険 特 別 会 計	531,778	526,683	5,095	1.0
温 泉 供 給 事 業 特 別 会 計	25,000	0	25,000	皆増
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	13,479	15,401	△ 1,922	△ 12.5
土 地 取 得 特 別 会 計	52,516	52,703	△ 187	△ 0.4
合 計	1,125,863	1,067,543	58,320	5.5

平成30年度黒石市重点事業一覧表

No.	事業名・科目名称	区分		
		新規	拡充	継続
1	カラス対策事業			○
2	ごみ減量化事業			○
3	地域おこし協力隊導入事業（ホームページ・物販・農業）	○		
4	ロジスティクス戦略推進事業	○		
5	小水力発電導入可能性調査事業			○
6	くろいしぐらし！！体験ツアー事業			○
7	若年層メタボリックシンドローム検診費用助成事業	○		
8	黒石市国民健康保険インフルエンザ予防接種費用助成事業			○
9	健康マイレージ事業			○
10	子どもインフルエンザ予防接種費用助成事業			○
11	黒石市特定不妊治療費助成事業			○
12	くろいし健康優良事業所連携事業			○
13	養育支援訪問事業	○		
14	子育てサポート事業			○
15	子ども医療費給付事業		○	
16	手話言語普及事業			○
17	高齢者地域見守り事業		○	
18	黒石産「ムツニシキ」パブリシティ戦略事業	○		
19	地域エネルギー利用循環型産業構築事業	○		
20	黒石食ビジネス振興事業（黒石特産果樹栽培検討事業、産学官連携新家畜導入研究事業）		○	
21	ワーキングホリデー黒石事業		○	
22	遊休農地を活用する農福連携事業		○	
23	強い農林水産業のための基盤づくり事業（経営体育成基盤整備事業）		○	
24	黒石りんご応援プロジェクト事業			○
25	就活支援事業	○		
26	黒石産品販路拡大支援事業	○		
27	創業・起業支援事業		○	
28	中心商店街空き店舗対策事業			○
29	黒石市中心市街地活性化基本計画策定事業			○
30	インバウンド受入事業			○
31	中野もみじ山「MON活」事業（中野もみじ山「小嵐山」改良事業）			○
32	土木資材等支給事業		○	
33	前町野添線（通称：こみせ通り）無電柱化推進事業			○
34	歴史的景観形成計画等策定事業	○		
35	立地適正化計画策定事業			○
36	黒石都市計画道路3・4・7黒石環状線街路事業			○
37	あけぼの町団地住宅建設事業			○
38	新設黒石市立黒石小学校新築事業	○		
39	算数・数学「UPる」先生事業			○
40	やる気「UPる」塾事業			○
41	伝統的建造物群保存・防災対策事業			○
		10	8	23

平成30年度 黒石市主要施策一覧

重：重点事業 新：新規事業

1. 健やかに暮らせるまち

【定住対策プロジェクト】

重	① 社会福祉総務費	
	社会福祉協議会補助金	37,723 千円
	② 障害者福祉費	
	特別障害者手当等給付事業	18,580 千円
	重度心身障害者医療費助成事業	43,171 千円
	自立支援医療費給付事業	54,081 千円
	障害福祉サービス等給付事業	692,702 千円
	障害児通所給付事業	88,031 千円
	地域活動支援センター事業	26,707 千円
	手話言語普及事業	368 千円
重	③ 老人福祉費	
	敬老会開催事業	7,350 千円
	老人福祉センター管理運営事業	17,716 千円
	高齢者世帯等除雪サービス事業	2,161 千円
	老人クラブ活動費事業	2,153 千円
	養護老人ホーム入所措置事業	87,335 千円
	④ 児童福祉費	
	延長保育事業	22,770 千円
	一時預かり事業	14,692 千円
	病後児保育事業	10,260 千円
重	地域子育て支援拠点事業	33,456 千円
	児童館等管理運営事業	73,704 千円
	放課後児童健全育成事業	49,632 千円
	児童手当給付事業	456,877 千円
	児童扶養手当給付事業	219,851 千円
	子ども医療費給付事業	50,420 千円
	・これまで実施してきた乳幼児の医療費無料化に加え、所得制限をかけずに小学生の入院に係る医療費を無料化することで、子育ての負担軽減を図る。	
	ひとり親家庭等医療費給付事業	29,773 千円
	子どものための教育・保育給付事業	1,391,347 千円
	⑤ 保健衛生費	
重	がん検診事業	43,092 千円
	子どもインフルエンザ予防接種費用助成事業	1,825 千円
	黒石市特定不妊治療費助成事業	2,016 千円
	子育てサポート事業	1,198 千円
	健康マイレージ事業	1,404 千円
	くろいし健康優良事業所連携事業	37 千円
	養育支援訪問事業	1,441 千円
	・出産や子育てに不安を持ち支援を希望する家庭等を訪問し、技術的な相談・指導・助言を行うほか、育児援助や家事援助など育児負担を軽減するための支援を行う。	
新		

		⑥ 病院事業会計補助金	500,000 千円
重		⑦ 黒石市国民健康保険インフルエンザ予防接種費用助成事業	2,021 千円
重	新	⑧ 若年層メタボリックシンドローム検診費用助成事業 ・国保加入者のメタボリックシンドローム検診の費用を助成することにより、若年層からの健康に対する意識の高揚を図るとともに、早期からの生活習慣病発症や重症化を予防し、医療費の削減へつなげる。	606 千円

2. 活力にあふれるまち

【農業活性化プロジェクト】

		① くろいし農産物等販売力強化事業	971 千円
重		② ワーキングホリデー黒石事業	1,070 千円
	新	③ 次世代を担う女性農業者活躍支援事業 ・女性農業者の経営力、行動力の向上へとつながるよう意識改革を図るため、次世代女子会の設立や各種研修会への参加を促すなど、女性農業者が活躍する環境づくりを推進する。	294 千円
重	新	④ 黒石産「ムツニシキ」パブリシティ戦略事業 ・平成30年産黒石産ムツニシキの本格デビューに合わせ、黒石米及び黒石市の魅力について情報発信を行い、「食の魅力」と「観光の魅力」の浸透、黒石市独自の米食文化の創造を目指す。	850 千円
重		⑤ 黒石食ビジネス振興事業 (黒石特産果樹栽培検討事業、産学官連携新家畜導入研究事業)	372 千円
重		⑥ 遊休農地を活用する農福連携事業	410 千円
		⑦ 鳥獣被害防止対策事業	1,010 千円
		⑧ 樹園地農道除雪事業	8,926 千円
		⑨ りんご経営安定対策事業	2,111 千円
		⑩ 果樹共済加入促進助成事業	2,182 千円
重		⑪ 黒石りんご応援プロジェクト事業	280 千円
		⑫ 中山間地域等直接支払交付金事業	46,751 千円
重		⑬ 強い農林水産業のための基盤づくり事業 (経営体育成基盤整備事業) ・農地中間管理機構の重点区域において、担い手への農地集積・集約化を推進し、農地の畦畔除去による大区画化・暗渠排水整備による農地の汎用化及び農業用排水施設の整備を行うことで、農業競争力の強化を図る。加えて、田舎館村と連携して広域にわたる基盤づくりを図る。	30,943 千円
重	新	⑭ 地域エネルギー利用循環型産業構築事業 ・バイオマス等地域エネルギーを活用した「未来志向型農業経営」を構築することを目的に、近畿大学、民間事業者等と連携し、それぞれの知識と技術を生かした循環型農業の実践に取り組む。	1,142 千円
		⑮ 農地中間管理事業	9,632 千円
		⑯ 多面的機能支払交付金事業	35,407 千円
		⑰ 農業次世代人材投資事業	54,525 千円

【定住対策プロジェクト】		
重	新	① ロジスティクス戦略推進事業 108,766 千円 ・東北自動車道黒石インターチェンジを活用し、供給側と需要側を緊密に結びつける環境づくりを進め、物流の最適化を図ることにより、地域産業の活性化を目指す。
重		② 小水力発電導入可能性調査事業 9,980 千円
重	新	③ 就活支援事業 673 千円 ・人材雇用を希望している市内企業をリストアップし、認知度向上に努め、雇用機会の確保及び拡充を図る。また、市内事業所の新卒就職者を対象にウェルカムイベントを開催し、移住・定住を促進する。その他、ハローワーク等関係機関と連携した情報提供や事業所への啓発等による雇用対策の推進を図る。
重		④ 創業・起業支援事業 121 千円
重	新	⑤ 地域おこし協力隊導入事業（ホームページ・物販・農業） 16,444 千円 ・インターネットやメディア等を通じた市のPRや、黒石産品の開発・宣伝及び販路拡大、その他農業技術の習得を経た地域の担い手育成等に携わり、地域協力活動を行ってもらう人材を地域外から募集、受入を行う。
		⑥ シルバー人材センター事業 10,540 千円
		⑦ 商工振興補助金
		特別保証制度保証料補給事業（小口資金） 5,000 千円
		特別保証制度保証料補給事業（事業活性化資金） 4,000 千円
		青森県特別保証制度連携による保証料補給事業 1,000 千円
重		中心商店街空き店舗対策事業 4,200 千円
		⑧ 商工振興育成資金貸付金
		黒石市特別保証制度貸付金 100,000 千円
		商工組合中央金庫貸付金 30,000 千円
重	新	⑨ 黒石産品販路拡大支援事業 1,693 千円 ・地域資源を活用した新商品開発や黒石産品を取り扱う市内事業所等の販路拡大を支援することで、六次産業化や農商工連携等による本市の食ビジネス振興を図り、地域経済の活性化に向けた仕組みづくりを推進する。
【街並み景観の保全プロジェクト】		
重		① 黒石市中心市街地活性化基本計画策定事業 5,855 千円
重		② 中野もみじ山「MON活」事業 6,617 千円 （中野もみじ山「小嵐山」改良事業）
	新	③ 黒石よされブラッシュアップ事業 10,356 千円 ・黒石よされの知名度向上のため、黒石よされまつりへの事業補助のほか、県外イベントにおいて黒石よされを披露し、更なる知名度アップを図る。また、地元の黒石よされ参加者増加のため、浴衣の貸し出し、着替え場所の提供、着付けサービスを行うことで、手軽に参加できる体制を構築する。
		④ 観光団体振興・支援事業
		黒石ねぶた祭り 1,100 千円
		黒石こみせまつり 1,300 千円
		黒石観光協会 13,083 千円
		黒石りんごまつり 1,350 千円
		黒石駅前観光案内所運営事業 5,130 千円
重		⑤ インバウンド受入事業 5,068 千円 ・訪日外国人観光客の受入環境整備のため、英会話教室等の勉強会を開催する。
		⑥ 松の湯交流館管理運営事業 15,811 千円

3. 心豊かな人を育てるまち		
【人づくりプロジェクト】		
重	① 宮古市との姉妹都市交流事業	517 千円
重	② 算数・数学「UPる」先生事業	8,232 千円
	③ やる気「UPる」塾事業	488 千円
	④ 小・中学校管理費	270,200 千円
	⑤ 小・中学校教育振興費	69,257 千円
重	⑥ 新設黒石市立黒石小学校新築事業	912,688 千円
新	・新設黒石小学校及び給食施設の新築工事を行う。 H30年度 912,688千円 H31年度 2,129,278千円 【総額 3,041,966千円】	
新	⑦ 黒石市立黒石東小学校増築事業	23,718 千円
	・黒石市立黒石東小学校の増築実施設計業務を委託する。	
	⑧ スポカルイン黒石図書コーナー管理事業	9,799 千円
	⑨ 地域力（黒石力）向上事業	305 千円
	⑩ 市民運動会事業	509 千円

4. 安全で快適なまち		
【定住対策プロジェクト】		
	① 地域公共交通関係事業	896 千円
	② 公共交通補助事業	63,194 千円
	③ 交通安全対策事業	5,050 千円
重	④ 土木資材等支給事業	1,500 千円
	⑤ 橋梁長寿命化事業	136,500 千円
重	⑥ 立地適正化計画策定事業	10,103 千円
重	⑦ 黒石都市計画道路3・4・7黒石環状線街路事業	298,294 千円
重	⑧ あけぼの町団地住宅建設事業	17,906 千円

5. 自然と調和するまち		
【定住対策プロジェクト】		
重	① ごみ減量化事業	48,068 千円
重	② カラス対策事業	2,322 千円
重	③ 前町野添線（通称：中町こみせ通り）無電柱化推進事業	14,700 千円
【街並み景観の保全プロジェクト】		
重	① 歴史的景観形成計画等策定事業	3,106 千円
新	・「こみせ」などの伝統的な景観の保全・形成並びにまちなかを回遊できる歩行者ネットワークの構築に伴い、まちなみ景観の整備方針及び整備計画の策定を行う。	
重	② 伝統的建造物群保存・防災対策事業	2,689 千円

6. 市民と行政がとものつくるまち		
【定住対策プロジェクト】		
	① 総合戦略推進事業	558 千円
	② 移住交流推進事業	317 千円
	③ くろいし婚活サポート事業	937 千円
重	④ 高齢者地域見守り事業	4,187 千円
重	⑤ くろいしぐらし！！体験ツアー事業	576 千円
【人づくりプロジェクト】		
	① 総合計画策定事業	1,560 千円
新	② 市民活動への報奨制度事業	243 千円
	・ 市民活動において公共性や効果の著しいものに対し、その優れた功績を報奨することで、活動を活性化し、黒石力（コミュニティ力）の向上を図る。	
	③ 公民館費	67,804 千円

新規重点事業の概要



養育支援訪問事業

H30新規・重点



子育て世代包括支援センター

概要

養育支援が必要な家庭に対して、訪問による、養育に関する相談、指導、助言等育児負担を軽減するための支援を行う。

対象者

- 主に、こんにちは赤ちゃん訪問事業で把握された
- ・妊娠や子育てに不安を持ち支援を希望する家庭
 - ・子育てに対して不安や孤立感等を抱える家庭
(例) 育児ストレス、産後うつ状態、育児ノイローゼ等
 - ・公的な支援(保育所、幼稚園等)に通っていない児童のいる家庭 等



事業内容



育児援助

- ・授乳支援
- ・おむつ・衣類の交換
- ・沐浴、入浴の介助等の
子どものお世話

家事援助

- ・食事づくり
- ・衣類の洗濯
- ・簡単な部屋の掃除
- ・買い物

専門的相談支援

- ・育児不安や育児技術
等のための助言・指導

利用方法

支援を希望する場合は、
子育て世代包括支援センターに申込・申請
→プランニング(ニーズ調査)→ サポート開始

利用料

無 料

利用期間・回数

- ①産前産後8週間(2回/週)
- ②上記以外、その他必要と認めた回数



H30新規・重点

若年層メタボリックシンドローム検診 費用助成事業

国保年金課

概 要

国保加入者を対象に、健診開始年齢以前の30歳代を対象に「メタボリックシンドローム検診」を行い、異常の早期発見・早期治療により健康長寿を目指す。



現状・課題

- ・黒石市の特定健康診査の結果を見ると、3人に1人がメタボ該当者及び予備群。
- ・40歳代男性の約50%が既に腹囲・動脈硬化・血糖値などに異常が出現し、血管を傷つけています。

事業内容

- ・対象者…30歳から39歳（国保加入者）
- ・検診料…無料
- ・申込方法…黒石病院へ直接予約（土・日受診可能）

効 果

若い世代から受診することで、生活習慣病の発症予防や重症化予防が早期に図られます。



検査時間
約30分

・黒石病院のMy検査「メタボリックシンドローム検診」で実施します。

・＜検査メニュー＞

血液検査：肝疾患・腎疾患・胆道系疾患・炎症性疾患・脂質検査・糖尿病・痛風 等
尿検査：腎・尿路系の炎症・結石 等



黒石産「ムツニシキ」パブリシティ戦略事業

H30新規・重点

農林課

概要

平成30年11月1日にデビューする黒石産「ムツニシキ」の知名度向上を図るとともにブランド確立のためPR活動を展開する。

予算額(当初):850千円

事業期間:平成30年度～

背景・課題

■「ムツニシキ」は、昭和46年から平成10年まで青森県の奨励品種のお米で当時の文献を見ると、玄米は小粒で、光沢、粒揃い、透明度が非常に良いほか、品質は最高級で青森県唯一の銘柄米であったが、倒伏しやすい、収量が上がらないといった理由で普及しなかった。

■米の消費が減るなか、現在は、用途別に個性的なコメを求めるようになり、“寿司に向く”という付加価値をもったお米として、黒石産「ムツニシキ」を復活させる。



パブリシティとは・・・

広報活動の一手法。各種マスコミに情報を取り上げてもらい、情報や活動状況などを限られた予算で周知する。

事業内容

■ 作付農家の決定

■ 種子採取確保支援
「ムツニシキ」種子採取
委託先:南黒おこめクラブ

■ 黒石産「ムツニシキ」
プロモーション事業

■ 青森県すし業生活
衛生同業組合補助金



事業の効果

■ 種子更新100%、栽培適地での生産など市内統一の取り組みができる。

■ 良食味・高品質生産の出発点である優良種子確保のために適切な栽培管理ができる。

■ 11月1日デビューに向け市内9店舗の飲食店や、青森県すし業生活衛生同業組合のウエイトを高め、ブランド化に繋がるプロモーション展開の効果が期待できる。

■ 11月1日デビュー及びデビュー後の宣伝活動
○WEB広告
○イベントの実施(試食キャンペーンなど)
○歴史ガイドの作成

平成30年「黒石産ムツニシキ」の本格デビューに合わせ、黒石米及び黒石市の魅力について情報発信を行い、「食の魅力」と「観光の魅力」の浸透、黒石市独自の米食文化の創造を目指す。

地域エネルギー利用循環型産業構築事業

H30新規・重点

農林課

概要

バイオマス等地域エネルギーを活用した「未来志向型農業経営」を構築することを目的に、近畿大学、民間事業者と連携し、それぞれの持つ知識と技術等を活かし、循環型農業を実践することにより、冬期間を含む通年栽培が可能となる。また、エネルギー源を転換することで、二酸化炭素削減効果など地球環境保護に繋がる。

予算額(当初): 1,142千円

事業期間: 平成30年度～

背景・課題

■積雪寒冷地地域では、冬期間のビニールハウス有効利用や冬の農業への取り組みに苦慮し、年間を通した農業経営が困難な状況である。



事業内容

■ビニールハウスを有効に利用し、エネルギー源の基礎となるバイオコックスを活用した温水利用型施設の設置、整備を行い、消費者の需要に的確かつ迅速に対応する「未来志向型農業経営」を実施する。

■原材料の安定確保、燃焼カロリー調査を実施する。

■産地の実情に合わせた生産管理技術研修、市場調査及び製品安定供給体制構築検証等の実施する。



事業の効果

■積雪寒冷地地域における通年栽培が実現し、農業所得向上に繋がる。

■バイオマス等地域エネルギーを活用することにより、二酸化炭素の排出削減効果が図られる。

■冬期間における安全、安心かつ新鮮で美味しい野菜の供給が可能となる。

■「未来志向型農業経営」が構築されることで、関連業種及び周辺市町村に対して、その内容、結果を波及することが可能となり、地域の活性化や雇用創出が図られる。

ロジスティクス戦略推進事業

H30新規・重点

企画課

○現在、人口減少や高齢化による労働力不足、それに伴う生産力低下による地域経済の停滞が懸念されることを受け、各産業分野を持続的に発展させ、供給側と需要側を緊密に結びつける環境づくりを進め、物流の最適化を図るための『東北自動車道黒石インターチェンジを活用したロジスティクス戦略』を策定した。

【背景・経緯】

【背景・策定経緯】

○青森県の中央部に位置し、広大な用地を確保できること。



○物流・商流の改善・最適化に向けた動きの加速化が想定されること。

○貨物運送業の従業員数が大幅に増加しているものの、効率的な輸送体制の確立が急務であること。

○国の総合物流施策大綱策定や隊列走行実験の研究・検証が開始され絶好の機会であること。

【具体的な取組内容】

○物流の合理化を実現するためのプラットフォーム（計画推進の環境づくり）の構築サポート。

○事業者のニーズに応えられる基盤整備のサポートとインフラ整備の検討。

○研究チーム設置などの体制整備の充実や検討会議・推進会議を設置などの組織体制を整備。

○周辺への企業誘致の促進。



※黒石市は、直接用地買収等は行わずに民間事業者の用地取得やその供給に向けた体制を整備し、法的手続きや税の優遇措置など円滑な事業推進のサポート役となる。

【期待される効果】

◆物流の拠点化・最適化による地域産業の競争力強化と地域経済への波及効果が期待できる。

⇒特に次の効果が期待できる！！

- 地域産業の競争力向上
- 労働力不足に対応した合理的な物流の確立
- 農産物や工業製品等の需要拡大
- 関連事業の周辺地域への立地促進
- 物流改善の動きに対する迅速な対応

◆ロジスティクス戦略の期間
第1期 平成29年度から5年間



就活支援事業

事業費:673千円

H30新規・重点

商工観光課

【現状・課題】

(現状)
有効求人倍率(8月時点)
国…1.52倍
青森県…1.26倍
黒石市…0.84倍
} 高水準・増加傾向
全国的に求人数が多く、有利な状況。
市内企業からは人材不足の声がある。

(現在の取組)
・ハローワークなどの関係機関との情報共有
・法令改正、就労関連情報の周知
・一般求職者向け企業見学会、黒石管内単合同企業説明会の実施(ともにハローワーク主催、初の試み)



◆求人の提出時期の遅れ、市内企業への理解度・認知度不足が見られた。
(例:大商金山牧場株は学生から牧場を持って経営していると思われる。)

課 題

- ・雇用のミスマッチ
- ・市内企業の認知度不足
- ・就職先の少なさ(認知度不足も要因)
- ・事業者側が求める人材の不足

【事業内容】

合同企業説明会の開催

ハローワークと連携・開催した企業説明会の継続開催(黒石管内単独初の試み)

地元企業の認知度向上

中・高生を対象とした早期段階からの企業説明会の開催(市内企業・学校・市連携)

黒石市内企業への就業促進

- ・黒石市内企業紹介パンフレットの作成
- ・大都市圏へのU・Iターン希望者へ周知(県と連携)
- ・県内外(大学・高校等教育機関、U・Iターン交流会等)への配布

ウェルカムイベントの開催

市内企業へ就職した新卒者対象としたウェルカムイベントの開催(異業種交流)

【効 果】

・人材不足の解消
⇒市内企業の認知度向上による市内就職へのきっかけ作り

・市内の就職枠拡大
⇒パンフレット作成にあたり市内事業所をめぐることにより、新たな就職枠の発見

・人口流出の抑制
⇒市内就職により市外・県外への人口流出を抑制

・U・Iターン希望者への就職情報の提供
⇒移住に向けた判断材料の提供

・ミスマッチの解消
⇒企業の認知度向上による仕事内容への理解促進
⇒離職者の減少



地域おこし協力隊導入事業

H30新規・重点

企画課

人口減少や高齢化等が進む本市において、①黒石市ホームページ再構築による魅力PR、②黒石産品を全国に売り込む及び③離農農家の経営継承を受ける新規就農等々の担い手として、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住、定着を図ることで、市の抱える課題解決への糸口をつかみ、ひいては地域へ入り込んでもらいコミュニティ力（＝黒石力）の維持・強化へ繋げる。

【現状・課題】

①【黒石市の情報発信】

- 市ホームページについて、情報が探しにくくデザイン性が低い。
- また、情報量に偏りがあり、必要なものが掲載されていない、古いままの情報がある。



②【黒石市の物産】

- 黒石と言えばコレ！と言った強力な特産物（物産）が少ない。
- こだわりの商品を作っても「外に売りに行かない・行けない」事業者のジレンマ。



③【黒石市の農業】

- 農業従事者が高齢化している一方で、45歳未満の従事者＝後継者が不足。
- 販売農家であっても耕作放棄地を抱えるなど、遊休農地が増加している。



【事業内容】

※記載の事業を行う協力隊員の募集も含む

①【黒石市ホームページ制作】

- 市ホームページの構成・デザインの検討及び情報化推進委員会で方向性決定。
- より良いホームページ制作のために研修会への参加及び制作素材の収集や起業に向けて広報取材に同行。

②【黒石産品の販売力強化】

- 「黒石素材のスープ」をモデル商品とした、市産品の販売PR支援。
- 市内事業者等と連携し、商品開発の現場を体験・実践。
- 首都圏等での商談会・営業回りに同行し、商談スキル及び営業ノウハウを磨き上げる。

③【黒石市の農業を実践】

- 農家から技術指導を受け、果樹(主にリンゴ)栽培技術の習得。
- 農業簿記講座や農業経営研修の受講による経営ノウハウの習得。
- 研修を継続しながら、経営継承若しくは新規就農の準備。

【事業効果】

- ①市ホームページが見やすくなることで**閲覧者の増加**につながり、**黒石の認知度及びイメージアップ**を引き起こし、**交流人口の増加及び有料広告掲載による歳入の増加**を見込める。



- ②「黒石と言えばコレ！」を連想させる**黒石ブランドの構築**及び「**売る**」ノウハウの蓄積・浸透を市内農商工業者の間に図ることで、**所得向上**が期待できる。



- ③離農しようとする農家の経営継承を受けて新規就農することで**担い手が確保され地域農業が活性化**し、また、離農により予見される**遊休農地等の発生を未然に防止**することができる。



こういった良い流れを作ってくれた隊員が黒石市で生活の基盤を持ち定着してくれば…

⇒黒石の強みであるコミュニティの新たな担い手としての活躍も期待できる!!

黒石産品販路拡大支援事業

事業費: 1,693千円

H30新規・重点

商工観光課

黒石産品を取り扱う市内事業者等の販路拡大を支援することで本市の食ビジネス振興を図り、
外貨獲得による地域経済の活性化に向けた仕組みづくりを行う。

【現状・課題】

①黒石市といえばコレ！という食分野の特産品が少ない。

・りんご、米、黒石つゆやきそば、地酒、干梅、黒い石だたみ…
⇒あれもこれもからの脱却

②新商品開発、商談会出展に取り組む市内事業者が限られている。

・新商品開発補助金(H28:2件)
・魅力度アップ補助金(H27:1件、H28:1件)
⇒市内個店事業主は、今あるものをどうすれば売れるか、頭を悩ませている。

③各個店の営業努力だけでは、経営的、人的に限界を迎えている。

・「今あるもの(素材)」を活かして加工し、付加価値をつけて域外へ売る「プレーヤー」の不足。
⇒専門的なノウハウ、外部の視点を構造的に組み込む必要がある。



市が推進する六次産業化・農商工連携に基づく食ビジネス振興

【事業内容】

①青森県フェアを活用した黒石産品の流通システム構築
黒石物産協会及び県内流通事業者と連携し、県外で開催される青森県フェアに出展。
黒石産品PRに加え、バイヤー等との継続した商品取引を促進。

②黒石産品ネット通販サイト構築支援
黒石物産協会と連携し、Web上で黒石産品を購入できる仕組みを構築するスタートアップを支援。

③黒石産品販売力強化支援事業補助
市内事業者等を対象に新商品開発や商談会等出展に係る経費の一部補助をする。
新商品開発については、需要が見込まれる商品であるか検討していることを補助要件に加え、売れる商品づくりを推進。

補助対象者 市内農業者・商工業者ほか加工品開発及び販路開拓に取り組む者

補助率 事業費の4/5 補助上限額 30万円×4件

【事業効果】

【効果①】
食ビジネス関係団体の機能活性化と地域ぐるみの販売力強化
・個店の弱みを連携により強みに変える。

【効果②】
通販サイト構築により通年で全国に向けた販路拡大
・人員不足や経費負担増等販路拡大の障壁となった課題が解消される。

【効果③】
市内事業者の意識変革
・事業者が活用しやすい補助制度設計により、本市を代表する地域産品開発と販路開拓への意欲向上が図られる。



挑戦する事業者(黒石ブランドの担い手)の育成、及び外貨獲得による地域経済活性化

新設黒石市立黒石小学校新築事業

現状・課題

黒石小学校・中郷小学校の校舎は、
『施設設備の老朽化が著しく、全面改修等大掛かりな修繕を必要としている』

目的・経緯

黒石市立小・中学校適正配置の方針に基づき、
黒石小学校・中郷小学校・北陽小学校は平成32年度統合することから、
『子どもたちが安全で快適な環境で教育を受けられる学校施設を整備する』
を目的に、黒石市立中郷中学校の敷地内に新設小学校を新築することに決定。

平成28年度 新設小学校新築基本設計

平成29年度 新設小学校新築実施設計

校名を「黒石市立黒石小学校」に決定

※ 統合準備委員会具申（H29.2.21）→ 第2回黒石市議会定例会 黒石市立学校設置条例の一部を改正



事業の内容・期間

平成30年9月 新設黒石市立黒石小学校新築工事着工
平成32年3月 新設黒石市立黒石小学校完成

平成30年1月1日現在

学校名	クラス数	児童数
黒石小学校	10	179
中郷小学校	14	272
北陽小学校	7	94

歴史的景観形成計画等策定事業

H30新規・重点

都市建築課

【目的及び課題】

黒石市では、まちなかの活性化を図るため、「こみせ」などを活かした伝統的な景観形成及びこれらを回遊できる歩行者ネットワーク構築に取り組んでいる。

現在、重要伝統的建造物群保存地区においては電線類地中化工事が実施されているが、事業効果を最大限に発揮するには路面の美装化、景観の復原を行うなど歴史的風致の向上を図る整備が肝要となる。

また、重要伝統的建造物群保存地区（中町）及び歴史的景観形成地区（前町・浜町）以外の地区においては助成制度がないことから整備意欲が低迷しており修景整備が進展しない。

【事業内容】

【事業概要】

ユニバーサルデザインを取り入れたまちなかの道路・歩行空間の整備及び街並みの景観整備を進めるため、**整備方針及び整備計画を策定する。**

【国庫補助金】

- 社会資本整備総合交付金
 - ・街なみ環境整備事業（補助率50%）

【策定期間】

- 平成30年度

【事業実施】

- 平成31年度以降
 - ・こみせ通りの電線類地中化工事後の道路美装化
 - ・横町、前町、浜町、上町、元町のこみせ再生、修景整備

【効果】

- 1 歴史的景観形成による黒石らしい豊かでゆとりある**生活環境整備推進**
- 2 安心して快適な歩行空間の整備による**まち歩き**の促進
- 3 歴史的町並みと調和のとれた**まちづくりを推進**するための官民連携強化
- 4 市街地の歴史的な景観を守るための制度整備による**景観形成の推進**

【総合計画〈5-4〉景観の保全】

中町：想定図（美装化）



周辺地域：整備推進（例）



路面・街灯
側溝・地中化

工作物修景



外観修景



地方消費税交付金引き上げ分が充てられる社会保障経費(平成30年度当初予算)

		経費	特定財源		一般財源		
			国県支出金	その他		うち消費税引き上げ分	その他
社会福祉	障害福祉関係	942,272	681,932	2,534	257,806	20,840	236,966
	老人福祉関係	133,090	4,324	15,788	112,978	9,133	103,845
	児童福祉関係	2,370,503	1,487,465	134,358	748,680	60,521	688,159
	生活保護関係	1,077,128	835,687	0	241,441	19,517	221,924
	その他社会福祉	121,977	6,762	0	115,215	9,314	105,901
	小計	4,644,970	3,016,170	152,680	1,476,120	119,325	1,356,795
社会保険	介護保険事業関係	472,758	7,155	0	465,603	37,638	427,965
	国民健康保険事業関係	270,401	189,000	0	81,401	6,580	74,821
	後期高齢者医療事業関係	471,261	76,201	0	395,060	31,936	363,124
	小計	1,214,420	272,356	0	942,064	76,154	865,910
保健衛生	病院関係	535,316	0	5,266	530,050	42,848	487,202
	予防関係	73,720	435	1,015	72,270	5,842	66,428
	その他保健衛生	182,269	41,465	6,536	134,268	10,854	123,414
	小計	791,305	41,900	12,817	736,588	59,544	677,044
合計		6,650,695	3,330,426	165,497	3,154,772	255,023	2,899,749